

有機農業テーマ 京大講師が講演

「エコの寺子屋」始まる

食をテーマに環境問題などへの理解を深める連続講座「エコの寺子屋」が9日、旧立誠小学校(中京区)で始まった。NPO「エコロジィ・カフェ」と京都大フイールド科学教育研究センターの主催。初回は同センター講師の西村和雄さん(60)が有機農業をテーマに講演した。

市民ら約30人が参加。西村さんは、農薬や肥料を大



食をテーマに有機農業について話し合われた「エコの寺子屋」

量に使う現代農業に対し、「持続可能な農業を続けるためには有機農業しかない」と強調。有機農業の野菜のスライドを見せながら、適切に育てれば虫はつかず、十分採算がとれることを紹介した。参加した中京区の主婦岡見裕子さん(53)は「有機農業でできた野菜は虫だらけと思っていたが、意外だった」と熱心に耳を傾けていた。

「寺子屋」は今後、10月末までに3回開催。11月に同センター土質試験地でフイールド学習をする。問い合わせは「カフェ」関西事務所(075・344・8067)へ。